

臨床研究に関するお知らせ

当院では下記の研究を実施しております。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、お手数ですが下記の研究責任者までお知らせください。また、研究への協力を希望されない場合であっても、そのために患者さんが診療上の不利益を被ることはありません。

この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。

研究課題名	骨粗鬆症リエゾンサービス介入の有無による自己注射製剤の2年治療継続率の比較				
研究責任者・所属	小牟田 美月		米盛病院 米盛骨粗鬆症リエゾンサービス委員会		
お問い合わせ先	電話：099-230-0100（代表） 平日：9時00分～17時00分				
1）研究の対象となる方					
当院において自己注射型骨粗鬆症治療薬（テリパラチドBS、テリボン、フォルテオ）を開始した患者 対象期間：2020年4月1日～2024年3月31日 1. 骨粗鬆症回診介入で治療開始となった患者 2. 骨粗鬆症回診以外の介入で治療開始となった患者					
2）研究の目的、意義および方法					
当院に入院し、自己注射での骨形成促進剤を開始した患者を対象に、自己注射治療導入前に認知機能や治療の理解度、巧緻性を評価することが治療継続率に影響を与えるかを明らかにすること。 自己注射継続には患者教育や支援の重要性が報告されているが、導入前の評価と継続率との関連についての報告は少ない。本研究により、自己注射導入時の患者選定や支援方法の検討につながり、治療継続の向上に寄与することが期待される。 骨粗鬆症回診後に治療開始となった群と、それ以外の理由で入院中に治療開始となった群の2年間の治療継続率について比較検討を行う。比較には、Fisherの正確検定またはカイニ乗検定を用いる。					
3）研究実施場所	米盛病院				
4）研究実施期間	本研究の実施許可日 ～ 2027 年 2 月 28 日				
5）使用する試料・情報					
研究に使用する試料					
研究に使用する情報	診療録等より以下の診療情報を抽出する。 1. 患者背景：年齢、性別、病名 2. 治療関連情報：使用した骨粗鬆症治療薬（テリパラチドBS、テリボンAI、フォルテオ）投与期間、中止日、治療継続状況（2年継続、中止の有無、理由）、認知症の有無、介護度 3. 介入状況：骨粗鬆症リエゾンサービス介入の有無、看護師や薬剤師など多職種介入の有無				
試料・情報の該当期間	2020 年 4 月 1 日 ～ 2024 年 3 月 31 日				
6）試料・情報の保管、廃棄方法および研究の二次利用について					
本研究で収集した試料・情報は、本研究以外の研究には使用されない。					
7）個人情報の取扱い					
使用する試料・情報からは、お名前やカルテ番号など、患者さんを特定できる個人情報は削除いたします。 また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。					
8）倫理委員会名称	米盛病院 倫理委員会 （承認番号： Y R 2623 号）				
9）利益相反					
本研究の実施に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業等はない。					